

15

緑豊かな中庭を活かした 明快な空間構成

単位制を考慮した回遊性のある学習・生活空間と
活発なコミュニケーションを育む工夫

鹿児島県立開陽高等学校

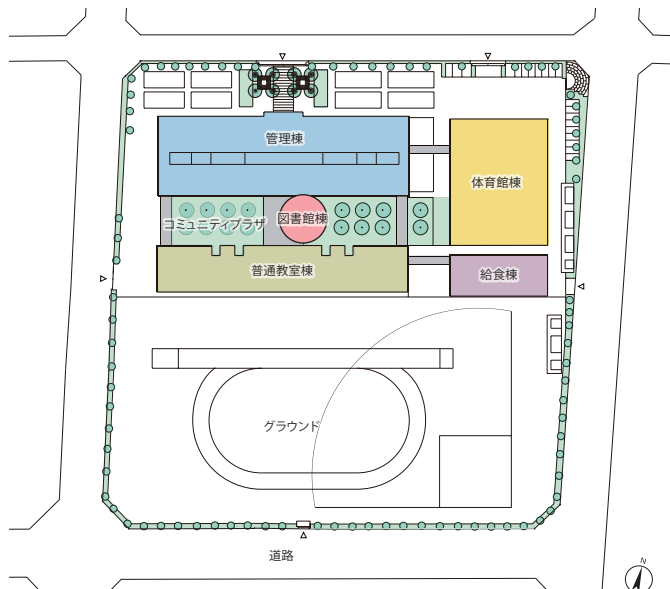
学科等/単位制・普通科等 クラス数・生徒数/2学科・全日制456人、定時制188人、通信制1,892人 建築主/鹿児島県
所在地/鹿児島市上福元町5296-1 工事種別/新築 敷地面積/42,468㎡ 延床面積/19,407㎡ 竣工/2003年3月

■計画・整備のねらい

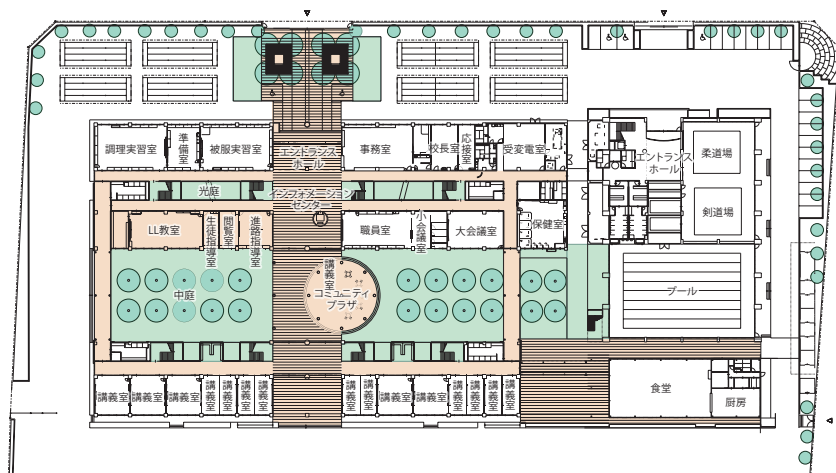
- 中庭を囲む明快な配置の校舎・体育館により、単位制高校の多様な履修形態に対応
- コミュニケーションが誘発される緑豊かな施設づくり



北側外観。体育館棟を交通量の多い道路側に配置し、校舎棟は静かな環境となるようにしている。



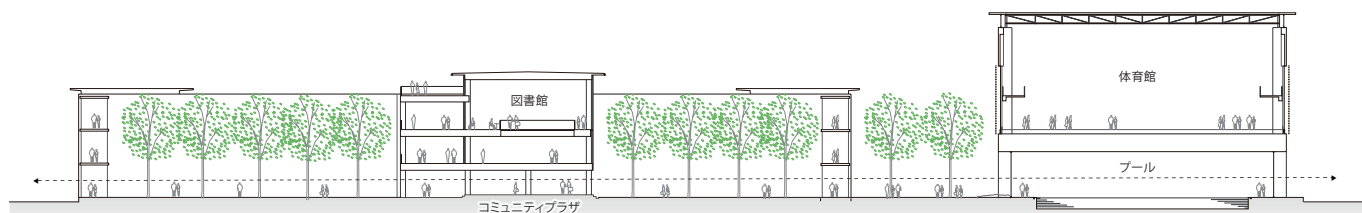
配置図。校舎のコンセプトは「光と風と森のある学校」。中庭に配置された円形の図書館棟は、自然とふれあう森の中の図書館をイメージ。



1階平面図。見通しがよく、分かりやすい動線となるよう、廊下や階段はガラスを多用。コミュニケーションを促すためにウッドデッキやホールを設けている。

■計画・整備のポイント

○中庭の緑化で森の雰囲気演出



断面図。中庭は芝生と落葉樹とし、四季の移り替わりが周りの校舎から感じられる。

■施設整備の工夫点

○図書室を学校の中心に配置



吹抜けの円形図書室。中心の円形ベンチから書架、グループ学習用机、自習スペースまで段階的にレイアウト。自習スペースは2階壁面に沿った静かな空間に設けられている。



図書室周りのウッドデッキはコミュニケーションの場にもなっている。

○光・風・緑を活かした快適環境の創出



1階デッキテラス。食堂横の外部空間にあり、光と風を満喫できる。



食堂は南側に独立して配置。天井が高く明るい空間でコミュニケーションがはずむ。

■教育効果のポイント

○校舎内は光と風があふれている。明るく開放的なので居心地が良い。

○各所に設けられた、半屋外空間のデッキはホームルームを持たない生徒たちにとって利用度が高い。